

令和2年度 第2回岡山県グリーン購入対策会議 【議事概要】

日時：令和3年2月24日（水）

14:00～15:05

場所：ピュアリティまきび

2階 孔雀

1 開 会

司会：循環型社会推進課

2 開会あいさつ

環境文化部次長

3 議 題

(1) 再生品使用促進指針及び岡山県エコ製品の判断基準の一部改正について

＜循環型社会推進課 担当＞

※資料（再生品使用促進指針及び岡山県エコ製品の判断基準の一部改正について）説明

【質 疑】

- ・改正案3について

＜委 員＞ プラスチック製ごみ袋の基準が厳しくなったが、岡山県エコ製品として認定した製品は基準を満足しているのか。

＜事務局＞ もともと県の認定基準よりも厳しい基準で作られており、今回の基準も満たしている。

- ・判断基準について、原案どおり改正することが適当と判断された。

(2) 岡山県エコ製品の認定審査について

＜循環型社会推進課 担当＞

※資料（岡山県エコ製品の認定審査について）説明

【質疑】

- ・新規申請案件について

＜委 員＞ 再生紙ファイルのメーカーは、材料として、規定量の循環資源を使用した紙を購入しているということか。

＜事務局＞ そのとおり。

- ・更新申請案件について

＜委 員＞ 更新しないものについて理由を把握しているか。

＜事務局＞ 製造を中止した、需要がないため更新しないという理由であった。

- ・申請のあった製品について、認定することが適当と判断された。

(3) その他

- <委員> 国は 2050 年に CO2 ゼロを目指しており、各県でも気候非常事態宣言を出している。県としての取組はあるか。
県のプラスチックごみ対策・食品ロスについて、今後、どのように戦略・計画をもち達成に向けた取組を考えているか。
- <事務局> 県でも 2050 年までに温室効果ガス排出の実質ゼロを目指すことを表明している。また、県では岡山県地球温暖化防止行動計画を見直しているところであり、コロナ禍ということもあるが、国の動きを注視しながら、具体的な対策を考えていく。
プラスチック対策については、国でも新たな法案作成の動きがある。その動向も注視しながら、排出量削減に向け普及啓発を行ってまいりたい。
食品ロスについては、国の法律・基本方針に基づき県の計画の策定について検討してまいりたい。
- <委員> プラスチック対策に関連して、コロナ禍でテイクアウトのプラスチック容器が増えている。その現状と対策についてどのように考えているか。
- <事務局> テイクアウトのプラスチックを減らすことは、コロナ禍の現状では難しい課題と受けとめている。リユース食器の使用を推進している真庭市の取組などを参考に今後の対応を検討していきたい。
来年度は、使い捨てプラスチックの過剰使用を抑制するための啓発事業を検討している。
- <委員> エコ製品の需要が低いのではないかと感じるがどのように考えているか。
- <事務局> 環境イベント等の機会を捉え、普及啓発を図っていきたい。
- <委員> 目標値を掲げ、達成に向けた取組を検討することが有効と考える。
グリーン購入についても、使う人に合わせた啓発が必要ではないか。
また、知っていても使わないという人もいるのではないかと。
- <事務局> 参考にさせていただく。
消費者に合わせた的確なPRを行ってまいりたい。
リサイクル製品について、知っていても利用しない理由についての把握も検討してまいりたい。
- <委員> 知っているけど使わない人の意識改革のため、エシカル消費の普及に取り組んでいる団体もある。

4 閉 会